



おぐら倉

校訓
自主
創造
協力



令和4年12月8日(木)発行
校長 栗原博巳
北九州市八幡東区尾倉三丁目10番1号
HP: www.kita9.ed.jp/ogura-j/

＜学校教育目標＞

豊かな心もち、健やかでたくましく行動する生徒の育成～みんなで考え、みんなで取り組み、みんなで作る尾倉中学校～

＜目指す生徒像＞

- ① 感性豊かで、意欲的、主体的に学習する生徒
 - ② 健康で明るく、思いやりのある生徒
 - ③ 礼儀正しく、奉仕の精神に満ちた生徒
- ◇ 元気のいい挨拶・礼儀・身なり・学習規律と集団生活における規律とマナー

トヨタ SDGs オンライン授業

12月7日(水)5校時に全校生徒を対象に「トヨタ SDGs オンライン授業を実施しました。尾倉中はユネスコスクール加盟校であり、その取組の一環でもあります。

トヨタ自動車株式会社が主催する、全国の中学生向けオンライン授業は、「カーボンニュートラル」や「SDGs」に関するトヨタ自動車の取組みを取り上げ、自動車業界の最前線を通じて、生徒が社会課題とその解決を考えるきっかけとするものです。授業内容(授業の柱)は以下のとおりです。

① 『100年に一度の大変革「CASE」』

👉 時代に合わせて変化・進化してきたトヨタの歴史や、最新技術を活用したモビリティの在り方「CASE」の現状を紹介します。

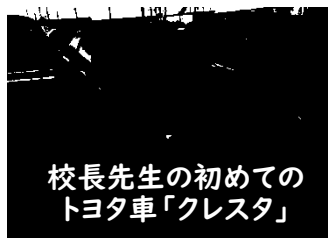
② 『日本政府が提示する「グリーン成長戦略」』

👉 カーボンニュートラル実現に不可欠なエネルギー事情や、ライフサイクルアセスメントの関 係性と、トヨタの取組について学びます。

③ 『SDGs の機運の高まり』

👉 自分以外の誰かのために、様々な課題解決を目指すトヨタの取組事例を紹介し、一人一人が今できることを一緒に考えます。

どの学年も一生懸命聞いていました。興味をもった人も多く、オンライン授業でしたが反応がとてもよく講師の先生も喜んでおられたようです。この機会に、車や環境に興味をもってくれたら嬉しいですね。



校長先生の初めてのトヨタ車「クレスト」



トヨタは、「ホームタウン」「ホームカントリー」と同じ想いで、人類共通の故郷である「ホームプラネット」を大切に守り抜くために、サステナブル&プラクティカル(実用的)な取組を進めています。

北九州学力・学習状況調査(1・2年)

北九州市学力・学習状況調査は、児童生徒の学力と学習や生活の実態を調査し、全国学力・学習状況調査の結果と合わせて、一人一人のデータを蓄積することで、小学校から中学校までの経年変化を把握します。その調査結果を基に、よりきめ細かな指導を行い、学力向上と学校や家庭での学習や生活習慣の改善を図ることを目的としています。



調査対象は1・2年生、教科は国語、数学・理科・外国語(英語)・生徒質問紙となっています。1・2年生のみなさんは、1時間目の国語から一生懸命に取り組んでいました。

明日への伝言板(人権週間の取組)

人権週間の期間中は、「明日への伝言板」を毎朝放送しています。小学校でも取り組んだことだと思います。もともと「明日への伝言板」は、北九州市が制作している人権啓発ラジオ番組です。みなさんは「明日への伝言板」という5分間のラジオ番組を聞いたことがありますか。

(「明日への伝言板」HPより) ※裏面に過去の例があります。



九州日中文化協会表彰式が、11月23日(水・祝)に太宰府市の九州国立博物館で開催されました。北九州市から、中国大使賞を受賞した本校の門脇 彩芽さんが参加しました。おめでとうございます。この内容は、学校通信第260号で紹介しています。